

令和7年度 利用説明会

【資料】

- ・ A A P（あきたアドベンチャープログラム）の紹介 P 1～3
- ・ A A P実施前アンケート P 4
- ・ あきたセカンドスクール推進事業（出前講座） P 5
- ・ (様式3)出前講座（講師派遣）申請書記入例 P 6
- ・ (様式2)利用打合せ用紙記入例 P 7
- ・ (様式4)マイクロバス利用申請書記入例 P 8
- ・ (様式5)物品借用願 P 9
- ・ 館内泊部屋割表記入例 P 10
- ・ 利用申請書記入例（宿泊利用の場合） P 11
- ・ 使用料減免申請書記入例（宿泊利用の場合） P 12
- ・ 令和7年度料金表 P 13～14
- ・ キャンプファイヤー（キャンドルファイヤー）における
保護者車両の乗り入れについて P 15～16

【別紙】

- ・ 学校間打合せ用紙
- ・ 食物アレルギーの対応について
- ・ 所内食メニュー食材詳細一覧表
- ・ 食物アレルギー調査票
- ・ (様式2)利用打合せ用紙
- ・ 館内泊部屋割表



各種申請書・手続き用紙は、「大館少年自然の家 ホームページ」からダウンロードできます。 「利用案内」→「各種申請書」

AAP (あきたアドベンチャープログラム) の紹介

※令和7年度から、プロジェクトアドベンチャー (PA) の名称がAAPに変更となりました。



▲「リングTOリング」 そーっと下ろすよ



▲「ビーイング」 気付いたことをみんなで書こう

◎AAP (あきたアドベンチャープログラム) って何ですか？

人間関係を築く上で大切な「信頼する心」の育成や「未知のことに取り組むチャレンジ精神」を高めることをねらって組織的に行う体験活動です。

具体的には、カードを使った簡単なゲーム的活動から、心身両面が試されるややハードな挑戦まで、その活動メニューは様々です。「ビーイング」と呼ばれる振り返り・話し合いの時間をもつことにより、さらに効果の高まりが期待できます。

◎AAP (あきたアドベンチャープログラム) で何が期待できるのですか？

実際に子どもたちにAAP (旧名称PA) を体験させた先生方の声です。

(1) AAP体験中に

- ・AAPを通じて、それまで気付かなかった子どもたちの意外な一面 (優しさ、リーダーシップ等) を知ることができた。
- ・活動する中で、集団が和やかな雰囲気になった。
- ・子どもたちが自ら、互いに声を掛けたり、励ましたりできるようになった。
- ・誰一人あきらめず、粘り強く頑張り続ける体験ができた。
- ・活動が分かりやすく、子どもたちが達成感を味わうことができた。
- ・AAPにより、学校間の関わりを深めることができた。
- ・仲間づくりや連帯感を生むプログラムでよかった。

(2) AAP体験後の日常生活で

- ・AAP体験後の様々な活動の中で、AAP体験時のことを児童に問い掛けることによって、行動を変えようとする態度が見られるようになった。
- ・普段は遠慮することが多い児童が、自分の意見を伝える場面が見られるようになってきた。
- ・成功体験を共有したことで、係や委員会活動でも協力して活動する児童が多くなった。
- ・アンケート調査結果から交友関係の広がりが見られ、自己肯定感の高まりも顕著であった。
- ・AAPを体験した時間で終わりではなく、AAPで学んだ子どもたちのよさを継続させる工夫が必要である。

◎AAPには、どんなものがあるのですか？

①アクティビティ：道具の使用なし、又は簡単な道具を使用して行う活動。

〈例〉「ビート」二人組でリズムと呼吸を合わせて手の平を合わせていきます。失敗してもなぜか笑い合えるゲームです。

「ウブンツ」複数の物が描かれている絵カードを見せ合い、同じものを早く見つけた人がそのカードをもらえます。

②エレメント：大がかりな器具を使用して行う活動。

〈例〉「川渡り」ターザンロープで向かい側に設置した木の台に着地。メンバー全員が台に立っていられたらミッションクリア。

「シーソー」シーソー状になっている1枚の板がどちらかに「ガタン！」とならないように全員が乗り込みます。

大まかに①と②に分けられます。自然の家で活動する場合は、エレメントも体験できます。AAPを行う際は、以下の**3つの理念**のもとに行います。

A「チャレンジバイチョイス」

関わりのタイミングや度合いは本人の意思によるものとする。

B「フルバリューコントラクト」

互いを最大限に尊重し合うための約束を共有する。

C「体験学習サイクル」

〈体験→振り返り→気付き→活用〉という学びを得る過程を大事にする。

◆活動に際してのお願い（一例）

- ・自信のないこと、苦手なことにちょっとチャレンジしてみましょう。
- ・「身体」と「心」の安全を守って活動しましょう。
→無理しすぎない。誰かの心にグサッと刺さるようなことを言わない。
- ・活動中の気付きは、どんどん発言していきましょう。



▲「ビート」 4人組でもできるかな？



▲「ウブンツ」 セーの！同じ絵はどこかな？



▲「シーソー」 揺れるよ！ゆっくり



▲「川渡り」 行くよーっ！落ちないで！

◎どのように利用したらよいのですか？

(1) 自然の家での活動プログラムとして

宿泊体験学習で自然の家をご利用いただいている団体には、1泊2日のスケジュールの中で実施（2～3時間）することが定着してきています。

エレメントを使ったダイナミックな活動もできるところが魅力です。

また、学級や学年単位で来所し、日帰りで利用される団体もあります。

(2) 出前講座：児童生徒を対象として

エレメントの利用はできませんが、学校の体育館等を会場にしたアクティビティ中心の活動でもAAPの効果は充分期待できます。年度初めの学級開きや学級目標の設定時、長期休業明け、集団が変化を迎えるタイミングでの利用はもちろんのこと、日常の学級づくりにも有効です。

所要時間は2時間程度が理想ですが、45～50分程度の短時間にも対応します。人数が多いときは、グループに分けて実施することもあります。

(3) 出前講座：教職員を対象として

AAPは初任者研修でも実施していますが、職員の校内研修としての実施もお勧めです。AAPを体験しその理解を深めることで、子どもの見方や子どもへの接し方が変わり、学級経営や授業づくりに役立つものと考えています。

◎実際に出前講座として、どのような利用がありましたか？

- ・学級開きで（小学3年生）
- ・PTA総会の時間を利用して（小学校全校AAPを実施）
- ・合同修学旅行前の顔合わせで（小学6年生）
- ・複数の小学校から入学予定の中学校体験入学で（小学6年生）
- ・複数の小学校から入学した中学校で（中学1年生）
- ・統合前の高校や中学校の生徒間交流で（高校1・2年生、中学1年生）
- ・他校との交流学习として（中学校各学年）
- ・親子レクの交流で（小学校各学年）

◎AAP利用者の感想から

<子どもたちから>

- ・みんなで活動してみて、他の人の意見も大切にし、自分の意見も出して、それを基にして考えて行動に移すことが楽しかった。
- ・AAPをやってみて、いつもより変わったなと思った。特に仲間を信頼したり、男女で協力したりすることが心に残った。

<小・中学校初任者研修参加者から>

- ・全員が活動に参加し、活動を通して他者と関わり合い、ゴールを目指していく。そこに「誰も見捨てない」「協調性」という性質があると感じた。

<企業新入社員研修参加者から>

- ・みんなの意見を取り入れつつ、自分の意見をいつもよりたくさん出すことができた。お互いをサポートしながらミッションをクリアすることができた。AAPは見た目は楽しいゲームですが、中身は仕事をする上でとても大切なことを学べるものだと思った。

利用の手続きについて

自然の家を利用する場合は、利用決定通知を受けた後に「利用打合せ用紙（様式2）」と「AAP実施前アンケート」を提出してください。

出前講座として実施する場合は、日時に関する電話予約をした後に「出前講座申請書（様式3）」と「実施前アンケート」を提出してください。

御利用についてのお問合せは、わんパーク大館（大館少年自然の家）指導チームまでお願いします。TEL:0186(43)3174 FAX:0186(43)3175

FAX送付状 兼 AAP（あきたアドベンチャープログラム）実施前アンケート

※PAは、令和7年度から名称をAAPに変更しました。活動内容はこれまでと同じです。

AAP実施日の2週間前までに、このままFAXで送信してください。

わんパーク大館 指導チーム 担当 行き FAX 0186-43-3175
--

団体名		担当者	
-----	--	-----	--

AAP 活動日・時間	月 日 () 曜日 時 分～ 時 分
---------------	------------------------

○AAP実施に当たり、事前アンケートに御協力ください。

1 クラス編成と人数を教えてください。

※「1組27名、2組28名（特支情緒1名含む）」のように御記入ください。

特別支援学級の児童生徒がいる場合、「杖をつけて生活していますが、普通に歩くことには支障がありません」「個別にゆっくり話すと指示が通りやすいです」など、活動に関わる具体的な情報を教えてください。

2 学級目標等があれば教えてください。

3 現在、先生が感じられている学級の子どもたちの「よさ」や「課題」について教えてください。

4 AAPを通して、子どもに期待すること・期待する姿を教えてください。期待する項目が一つの場合は○を、複数の場合は優先順に数字をお書きください。

- () お互いの名前を呼び合ったり、手をつないだりする。
- () 失敗を恐れず、積極的に行動する。
- () 自分の考えや感情を相手に伝え合う。
- () お互いに協力して、課題を解決する。
- () お互いの信頼関係を高める。

出前講座（講師派遣）

わんパーク大館（大館少年自然の家）では、幼保・小・中学校等へセカンドスクールの利用として出前講座を実施しています。
公民館、老人介護施設等にも伺っております。ぜひご利用ください。

【令和6年度実績】指導者派遣数 169件、参加人数 8,002名

- ・幼保施設・・・お楽しみ会、保護者参観日、クリスマス会、節分等
- ・小学校等・・・自然教室の事前学習、親子交流会、スキー授業等
- ・その他・・・防災教育関連活動、放課後子ども教室等

〈活動例〉

※PAは、令和7年度から名称をAAPに変更しました。活動内容はこれまでと同じです。



【ポリ袋調理体験】

- ・切った材料をポリ袋に入れて大鍋で湯煎。カレーライス等が簡単に調理できます。災害時にも役立つプログラムです。
- ・食材はご準備ください。



【人間関係づくり・チームビルディング】

- ・学年開きや親子レク等の場で、あきたアドベンチャープログラム(AAP)を生かしたゲームで交流する時間を提供します。



【野外炊事体験】

- ・かまどや薪を使用し、飯盒でお米を炊く体験が学校でできます。
- ・軍手(綿)や革手袋をご準備ください。
- ・薪代をいただきます。



【テント設営体験】

- ・宿泊体験に備えて、実際に使用するテントの設営と撤収の仕方、寝袋のたたみ方も学習できます。1人用テントもあります。



【火起こし体験】

- ・道具を使った火起こし体験ができます。小学校のクラブ活動としても、ご利用いただけます。
- ・軍手をご準備ください。



【スキー指導への協力】

- ・スキー場でのスキー教室だけでなく、通常の体育の時間のスキー指導にもご協力いたします。

【星空観察】星座の見付け方や天体望遠鏡の使い方等を学ぶことができます。

○お問合せ：わんパーク大館（自然の家）指導チーム 電話 0186-43-3174

所 長	総務T L	指導T L	指導チーム

出前講座（講師派遣）申請書

令和 7 年 5 月 19 日

（あて先）秋田県立大館少年自然の家所長

次のとおり利用を申請します。

団 体 名（学 年）	秋田県立岩神沢小学校 3年		
代 表 者 職 氏 名	校長 長根山 三郎		
担 当 者 職 氏 名	PTA学年委員長 自然 太郎		
連 絡 先	〒	017-0023	
	住所	大館市東字岩神沢31	
	電話 (携帯)	岩神沢小学校0186-43-3174 (自然000-0000-0000)	
	FAX	岩神沢小学校0186-43-3175	
	E-mail	岩神沢小学校 one-park@pref.akita.lg.jp	
開 催 場 所	秋田県立岩神沢小学校 体育館		
開 催 日	令和 7 年 9 月 7 日(日)～ 月 日()		
内 容	PTA学年レクレーション 交流ゲーム指導		
人 数	大人	40人	子ども 30人 計 70人
日 程	9 : 00	役員集合、打合せ（岩神沢小学校体育館）	
	9 : 30	児童・保護者集合	
	9 : 40	開会行事	
	9 : 50	交流ゲーム	
	11 : 20	閉会行事、解散	
備 考	<ul style="list-style-type: none"> 当日は9：00まで来てくださるようお願いします。 事前の連絡は、自然の携帯電話をお願いします。平日は12:00～13:00希望 FAXは学校をお願いします。 <p style="background-color: yellow; border: 1px solid black; padding: 2px;">この欄は、幼保・学校の授業時間に行う場合のみ御記入ください。</p>		
利用の位置付け	幼/保	教科 ()	道徳 総合 特別活動

※この用紙は、メール又はFAX等で提出してください。

様式 2 記入例

※最新版のデータをお使いください。
 活動のしおりの日程と照合してから御提出ください。

所長	総務 T L	指導 T L	指導チーム
食物アレルギー対応の対象者の有無を入力する 対象者ありの場合、別紙食物アレルギー調査票を添付			

利用打合せ用紙

令和 7 年 4 月 21 日 現在

団体名(学年)	大館市立長根山小学校 5 年			担当者職氏名	教諭 岩神 沢男			
〒・住所	〒 017-0023	大館市東字岩神沢 3 1		電話	0 1 8 6 - 4 3 - 3 1 7 4			
E-mail	one-park@pref.akita.lg.jp			FAX	0 1 8 6 - 4 3 - 3 1 7 5			
利用期間	令和 7 年 6 月 11 日 (水) ~ 6 月 13 日 (金) 2泊 3日			請求書発行	別業			
【学校】目的	教科	① 体育	② 家庭	③ 総合	④ 特活	連絡 ↓	食物アレルギー対応 対象者あり	
時数調べ	時間	5	5	6	2	入所式場所	レクホール 退所式場所 前庭	
【その他】目的	研修・子ども会・合宿・家族・サークル・その他 ()					所長挨拶希望有無	入所式 有 退所式 有	
利用人数	宿泊方法		食事			・テント泊は第2テントサイト		
男 女 計	宿泊室(定員:12人)	シーツ	数	朝	昼	夕	・キャンプファイヤーは第2営火場。保護者の車を 学校で誘導しますので、施設の裏に駐車させていただきます。	
乳幼児	1日目 室 人	26	1日目			26	・2日目AAP前にスポーツドリンク	
園児	2日目 6室 26人		2日目	26	26	26	・きりたんぼ時に麦茶、野外カレー時に水	
小学生	11 12 23	3日目 室 人	3日目	26	26		・振り返りの時間に研修室を使わせてください。	
中学生		テント(標準:4~6人)	シュラフ	場所	朝	昼	夕	
高校生		1日目 9張 26人	26	1日目		食堂	・退所式後に、掲揚塔前で集合写真を撮ります。	
引率等	1 2 3	2日目 張 人		2日目	食堂	食堂	野外	・児童6人がキャンプファイヤーの衣装を使用。
計	12 14 26	3日目 張 人		3日目	食堂	野外		※児童用衣装が5人を超える場合はお知らせください。

活動プログラム (*下段には雨天時計画記入)	6月11日(水)	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
		大駐車場集合 AM8:45 出発式9:00				大駐車場で出発式~鳳凰山Aコース山頂で昼食 ※登山用以外の荷物は学校車両で自然の家に運搬します。館内に保管願います。				入所式	テント設置第2	AAP①レクホール	夕食	キャンプファイヤー第2	入浴	振り返り	消灯		
	雨天時	到着予定時刻 AM9:00	入所式	オリ	AAP①	持参昼食	所内ハイク 4班	キャンドル打合せ	クライミング	テント設置レクホール			キャンプファイヤー視聴覚						
	6月12日(木)	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
		起床洗面	集いテント撤収①	朝食	ウォークラリー Bコース 4班	昼食	テ撤収②	AAP②スポーツドリンク	きりたんぼ 麦茶 6人×2班 7人×2班	オリ	BM / 入浴	振り返り	消灯						
	雨天時	※AAP→あきたアドベンチャープログラム(旧PA)			AAP② 視聴覚室			竹のペン立て作り	館内泊や館内テント泊の場合は、入所式後やベッドメイク(BM)の前に、オリエンテーション(オリ)の時間を入れる										
6月13日(金)	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
	起床洗面	清掃・朝の集い	朝食	部屋点検	火起こし	野外カレー 6人×2班 7人×2班	退所式	退所式後、掲揚塔前で集合写真を撮ってから、歩いて下山します。下の大駐車場に保護者が迎えに来ます。足の不自由の児童がいるため、玄関前に保護者の車を1台駐車させていただきます。				出発予定時刻 PM 2:40	自然の家に到着する予定時刻と出発する予定時刻を記入する						
雨天時	野外炊事を行う場合は、あらかじめ班分けを行い、人数と班の数を記入する																		

↓ ※食事・クリーニング・燃料・創作材料などの注文は下の表に記入し、費用を確認してください。
 ※種別・コースは、プルダウンメニューより選択でき、単価が自動入力されます。数を入力すると金額がでます。(EXCELの場合)

No	種別	コース	単価	数	金額	No	種別	コース	単価	数	金額
1	食堂夕食	B	1000	26	26,000	10	麦茶	共通	160	26	4,160
2	キャンプファイヤースーツ	共通	6000	1	6,000	11	食堂朝食	B	850	26	22,100
3	シュラフ	共通	770	26	20,020	12	シーツ	共通	389	26	10,114
4	食堂朝食	B	850	26	22,100	13	野外カレー	共通	850	26	22,100
5	食堂昼食	B	950	26	24,700	14	野外炊事(薪)	共通	180	26	4,680
6	スポーツドリンク	共通	160	26	4,160	15	水	共通	160	26	4,160
7	きりたんぼ①(手作り)	共通	1400	26	36,400	16	竹のペン立て	共通	550	26	14,300
8	野外炊事(薪)	共通	180	26	4,680	17					
9	野外炊事(炭)	共通	180	26	4,680		合計				230,354

※この用紙は、利用開始日の2週間前の正午までにメール又はFAX等で提出してください。

所 長	総務 T L	指導 T L	指導チーム

マイクロバス利用申請書

令和 7 年 4 月 28 日

(あて先) 秋田県立大館少年自然の家所長

次のとおり利用を申請します。

団体名(学年)	大館市立岩神小学校(4年)		
代表者職氏名	校長 鳳凰 太郎		
担当者職氏名	教諭 長根 山代		
連絡先	〒	017-0023	
	住所	秋田県大館市東岩神沢31	
	電話(携帯)	0186-43-3174	
	FAX	0186-43-3175	
	E-mail	one-park@pref.akita.lg.jp	
乗車人数 (※定員:28人)	32 人		
利用目的	施設見学		
運行経路	往	自然の家～郷土博物館	
	復	郷土博物館～自然の家	
運行日時	往	令和 7 年 6 月 13 日(金) 9 時 30 分 出発	
	復	令和 7 年 6 月 13 日(金) 11 時 30 分 出発	
備考	<ul style="list-style-type: none"> 乗車人数が32人となりますので、往復とも2回に分けて送迎をお願いします。 		

※自然の家を拠点として施設見学や勤労体験学習等を行う際に御利用ください。

※時期や場所、使用目的等によっては都合の着かない場合もありますので、必ず前もって御相談ください。

様式 5

所長	総務 T L	指導 T L	担当

【記入例】 物 品 借 用 願

令和 7 年 9 月 11 日

秋田県立大館少年自然の家所長

団体名	秋田県立鳳凰小学校
代表者 職氏名	校長 岩神 秀雄
担当者 職氏名	教諭 秋葉 麗子
電話 (携帯)	鳳凰小 0186-00-0000

次のとおり物品を使用したいので借用を申請します。

借用物品	野外炊事用 鍋とふた 10組		
借用期間	令和 7 年 9 月 20 日 16 時から 令和 7 年 9 月 25 日 16 時まで		
使用目的	防災炊き出し体験学習のため		
使用場所	鳳凰小学校		
* 担当職員			
* 返却期日	令和 年 月 日 時	* 返却確認	

※太枠の欄を御記入ください。 *印のある欄は記入しないでください。

※必ず事前に電話で確認してください。

※この用紙は、メール又は F A X 等で提出してください。

わんパーク大館 指導チーム (FAX 0186-43-3175) 行き

送り状は不要です。このまま送信してください。

館内泊部屋割表

団体名 大館市立大館小学校5年

利用日 5 月 10 日 ~ 5 月 11 日

宿泊者数 男 12 人 女 14 人 計 26 人

使用する部屋の太枠の中に性別と人数をご記入ください。 例) 男 6 人

2階

階段	女子 トイレ	非常 階段	17号室	16号室	15号室	14号室	13号室	12号室	11号室	10号室	9号室	男子 トイレ	X	階段
	洗面所 洋1和4		⑨	⑨	⑨	⑨	⑨	⑨	⑨	⑨	⑨	⑨		
			人	人	人	人	人	人	人	人	人			
廊 下														

1階

階段	男子 トイレ	X	8号室	7号室	6号室	5号室	4号室	3号室	2号室	1号室 バリアフリー	18号室 和室	女子 トイレ	X	階段
	洗面所 洋1和2		⑨	⑨	⑨	⑩	⑩	⑩	⑩	②		洗面所 洋6		
			男 6 人	男 1 人	男 5 人	人	女 2 人	女 6 人	女 6 人	人				
廊 下														

非常口

非常口

- ・ 1号室のベッド数は4です。
 - ・ 2号室から17号室までの各部屋のベッド数は12ずつです。
 - ・ 宿泊される部屋の布団セットが足りない場合は、使っていない部屋のものを移動して使用します。使用後は元に戻してください。
- } ○数字は、各部屋に通常置いている布団セット（掛け・敷き布団）の数です。

(宿泊利用の場合)

秋田県立少年自然の家利用申請書

(あて先)

秋田県立大館少年自然の家所長

次のとおり秋田県立少年自然の家を利用したいので申請します。

記入例

令和7年5月16日 ←提出は、利用日3日前(土日祝日を除く)まで

団体名	大館市立岩神小学校5年生
代表者	職名 校長 氏名 鳳凰 太郎
電話番号	△△△△-〇〇-××××
利用年月日	令和7年5月21日(水)～5月22日(木)
利用人数	62人(うち18歳以上[高校生又は準ずる者を除く] 8人)

※申請の利用人数に基づいて、18歳以上(高校生又は準ずる者を除く)の方から使用料を徴収します。減免を希望する場合は減免申請書を添付してください。

秋田県立少年自然の家利用許可書

秋田県立少年自然の家の利用について、「秋田県立少年自然の家条例」第4条の規程に基づき、次のとおり許可します。

記入例

団体名	大館市立岩神小学校5年生
利用年月日	令和7年5月21日(水)～5月22日(木)
利用人数	62人(うち18歳以上[高校生又は準ずる者を除く] 8人)

令和 年 月 日

秋田県立大館少年自然の家所長 印

(宿泊利用の場合)

秋田県立少年自然の家 使用料減免申請書

(あて先)

秋田県立大館少年自然の家所長

次のとおり使用料の全部（一部）を免除されるよう申請します。

記入例 ※赤字の部分をご記入ください。

令和7年5月16日 ←「利用申請書」と同じ日付で一緒に提出

団体名	大館市立岩神小学校5年生	
代表者	職名 校長	氏名 鳳凰 太郎
使用年月日	令和7年5月21日（水）～5月22日（木）	
理由 (いずれかにチェック)	全額免除	<input checked="" type="checkbox"/> 学校等が、教育課程又は保育計画に基づく活動で使用するため <input type="checkbox"/> 県又は県教育委員会等が主催する研修講座で使用するため <input type="checkbox"/> その他、特別な理由があるため ()
	半額免除	<input type="checkbox"/> 学校等が教育課程外又は保育計画外の活動で使用するため <input type="checkbox"/> 社会教育関係団体等（主な構成員が子どもである団体等）の活動で使用するため <input type="checkbox"/> 身体障害者手帳、療育手帳及び精神障害者保健福祉手帳を所持しているため（スマートフォンのアプリ等での提示・確認も可）

秋田県立少年自然の家 使用料減免承認書

秋田県立少年自然の家の使用料減免について、「秋田県立少年自然の家条例」第7条の規定に基づき、次のとおり許可します。

記入例

団体名	大館市立岩神小学校5年生	
使用年月日	令和7年5月21日（水）～5月22日（木）	
対象人数	使用料徴収対象	_____人
	うち（全額・半額）免除	_____人

令和 年 月 日

秋田県立大館少年自然の家所長 印

令和7年度 料金表

令和7年4月1日から適用

※料金はすべて消費税込み

寝具クリーニング

品名	料金
シーツ	389円
おねしょマット	176円
シュラフ（寝袋）	770円
ベッドパット	2,310円
マットレス	4,620円
毛布	770円
掛け布団	4,620円
敷き布団	4,620円
汚れしみ抜き	1,100円

※参考 令和6年度料金

料金
374円
165円
770円
1,430円
2,750円
770円
3,850円
3,850円
1,100円

野外活動

品名	料金
野外炊事用（薪）	180円
野外炊事用（炭）	180円
キャンプファイヤーセット	6,000円

※参考 令和6年度料金

料金
150円
150円
5,500円

創作活動

品名	料金
焼き板工作（杉）	500円
焼き板フォトケース（杉）	550円
竹のペン立て（竹・杉）	550円
絵付けオカリナ（陶器）	1,250円
プラ板キーホルダー（2枚組）	400円
竹とんぼ（2本組）	190円
万華鏡（紙）	300円
曲げわっぱ（秋田杉のパン皿）	3,850円

※参考 令和6年度料金

料金
450円
500円
500円
1,250円
380円
190円
300円
3,850円

食事（食堂）

コース		料 金	備 考
A コース	朝食	800円	三食合計 2,650円
	昼食	900円	
	夕食	950円	
B コース	朝食	850円	三食合計 2,800円
	昼食	950円	
	夕食	1,000円	
C コース	朝食	950円	三食合計 3,100円
	昼食	1,050円	
	夕食	1,100円	

※参考 令和6年度料金

料 金	備 考
700円	三食合計 2,350円
800円	
850円	
750円	三食合計 2,500円
850円	
900円	
800円	三食合計 2,650円
900円	
950円	

食事（野外炊飯） ※ABCの別なし

コース、メニュー		料 金
昼食	カレーライス	850円
	カレーライス（ご飯付き）	900円
	カレーライス（ルウなし）	800円
夕食	きりたんぼ①（たんぼも作る）	1,400円
	きりたんぼ②（たんぼ市販品）	1,500円

※参考 令和6年度料金

料 金
750円
800円
700円
900円
1,000円

※（ご飯付き）厨房で炊いたご飯を提供

※（ルウなし）カレールウ持込の場合

飲み物（500mlペットボトル）

品 名	料 金
水	160円
麦茶	160円
緑茶	160円
スポーツドリンク	160円

※参考 令和6年度料金

料 金
150円
150円
150円
150円

キャンプファイヤー（キャンドルファイヤー）における 保護者車両の乗り入れについて

大館少年自然の家では、夜間に活動する児童生徒の安全を確保するため、キャンプファイヤー（以下、CFと記す）の参観を希望する保護者の皆さまに、本所敷地内への車両の乗り入れについて、次の理由によりご協力をお願いしております。

つきましては、利用団体から保護者の皆さまにも、ご連絡とご協力いただきますようお願いいたします。

ご協力をお願いする主な理由

- ・ 第1営火場前の駐車スペースに限りがあること。（スタッフ分、団体引率者分を除いて4～5台程度）
- ・ 過去に、児童生徒が営火場周辺で活動したり登坂道を移動したりしている際に、保護者の車両の乗り入れと重なり、活動を中断するなど運営に支障をきたすことがあった。
- ・ 登坂道に駐車したケースがあり、児童生徒の移動や諸活動の妨げとなった。
- ・ 夜間の運営スタッフの人数が少ないこと。

1 1団体のみでCFを実施する場合

使用場所	乗り入れに関するお願い事項	備考欄
第1営火場 （長根山交流 ハウス隣）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長根山運動公園駐車場等を利用し、原則として車両を乗り入れないようにお願いします。 ・ 長根山運動公園駐車場を利用する場合、事前に指定管理者（タクミアリーナ：大館市樹海体育館）へ連絡し、あらかじめ許可を得てください。 	タクミアリーナ TEL 0186-43-7136
第2営火場 （長根山頂上）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然の家裏の駐車場をご利用ください。 ・ 本所職員の指示の下、車の移動及び駐車をお願いします。スピードを出さず、安全運転をしてください。 ・ 児童生徒が登坂道を移動している間、車の通行をお待ちいただくことがあります。 	※車の誘導は、利用団体又は利用団体から指示を受けた保護者

2 2団体が同日にCFを実施する場合

使用場所	乗り入れに関するお願い事項	備考欄
第1営火場 （長根山交流 ハウス隣）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長根山運動公園駐車場等を利用し、原則として車両を乗り入れないようにお願いします。 ・ 長根山運動公園駐車場を利用する場合、事前に指定管理者（タクミアリーナ：大館市樹海体育館）へ連絡し、あらかじめ許可を得てください。 	タクミアリーナ TEL 0186-43-7136
第2営火場 （長根山頂上）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然の家裏の駐車場をご利用ください。 ・ 本所職員の指示の下、車の移動及び駐車をお願いします。スピードを出さず、安全運転をしてください。 ・ 第1営火場の利用団体が活動中の場合や、児童生徒が登坂道を移動中の場合は、車の通行をお待ちいただくことがあります。 	※車の誘導は、利用団体又は利用団体から指示を受けた保護者

3 雨天等によりキャンドルファイヤーに予定を変更した場合

使用場所	乗り入れに関するお願い事項	備考欄
【館内】 レクホール 又は 視聴覚室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然の家裏の駐車場をご利用ください。 ・ 本所職員の指示の下、車の移動及び駐車をお願いします。スピードを出さず、安全運転をしてください。 	※車の誘導は、利用団体又は利用団体から指示を受けた保護者

わんパーク大館（大館少年自然の家） 営火場周辺略図

